

# 活用事例①

## JC作成を通じた職業相談から職業訓練の受講へ

40歳女性

希望職種：事務、営業、販売 直近の勤務形態：臨時職員

職歴：給食調理（臨時職員）2年 食品製造（臨時）6か月 給食調理（パート）約6年4か月

### 背景

- 契約期間満了により保育園を退職。子供も大きくなり、今後は正社員としてフルタイム勤務を希望するが、これまでパート・臨時勤務等長く建築関係の専門学校も中退で、PCスキルも入力程度と自信もないため、今後の方向性に迷いあり。
- 再就職に向け本人が自信を持ってアピール資格等を持たないため、民間キャリアセンターを案内しキャリアプランの整理が必要と判断。

### 支援内容・経過

- ジョブ・カード作成を通じ、キャリアプランを構築する中で、事務、営業、販売関係での正社員就職を実現するために、希望する職種どの分野でもPCスキルが必要であること、またパート勤務が長かったことからビジネスに関する知識とマナー不足を感じた。これらの不安要素を訓練受講により自信へと変えて、就職を目指すことで方向性が固まり公共職業訓練 事務基本科の申込みに至る。

### 結果

退職から2か月後、職業訓練受講(3か月)が決定した

## 活用事例①②

### 職業相談(職業訓練)窓口での活用

男性  
希望職種：製造  
直近の雇用形態：正社員5年 屋外広告物の作成と設置業務

#### 背景

- 家庭事情もあり実家にUターン。2年前の年末に退職。
- 経験職である広告物の作成・設置は、就職希望地域では非常に少なく次に進めていくうえでの迷いがある様子
- 訓練を受講し、技術習得により次へのステップを踏みたい気持ちも強く感じられる。

#### 支援内容・経過

- 訓練内容のパンフレットを確認し、具体的な次の職種もかたまりつつある様子
- ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを行い自己理解も深めて、訓練への強い意思も確認し、生産設備メンテナンス科を受講
- 訓練修了の目途もたち、ジョブ・カードを活用しながら応募書類作成支援を行う。
- 訓練修了と同時に正社員での採用となる

#### 結果

ヒーター開発・設計技術者(正社員)

## 活用事例一③

### 職業相談(職業訓練窓口)での活用

40歳男性

希望職種：製造関係

直近の雇用形態：建材器具の製造工場に10年。その後作業機械の製造工場で、溶接を覚えてもらえる

#### 背景

- 初回相談時、食品製造、コンクリート製造、砂利運搬など異なる職種を持参し、応募を検討。相談過程に「本当は、溶接の仕事に就きたい」との希望を何度か伝えていた為、溶接関係の求人を情報提供するものの、1年くらいの経験しか無いとの理由で応募を躊躇。

#### 支援内容・経過

- 溶接の経験不足の点は、有期実習型訓練制度で補えることを説明。本人興味を示した為、ジョブ・カード作成支援を数回行う中で、自己理解、仕事理解を深める。
- キャリアプランシートを作成する過程において、採用となった場合本人の技術が不足していると思われるTIG溶接、ガス溶接のスキルを高め、資格などを取得するといった具体的目標を描けるようになり応募に至る。

#### 結果

金属製品製造工に就職

## 活用事例一④

### 新たなステップへの活用

女性

希望職種：特になし→介護

直近の雇用形態：販売4年6か月 歯科助手1年6か月

#### 背景

- 前職を妊娠のため離職。出産後は家庭に入っており、5年程度のブランクあり。
- 家庭を優先する必要があるため、平日の日勤を希望。
- 上記から、希望職種が定まっていない。

#### 支援内容・経過

- 職業相談の中で、条件面、人材不足求人等の点からデイサービスの介護職を提案。
- ジョブ・カードについて説明し、職務の棚卸・自己理解等の必要性について本人も理解。
- 上記から介護員初任者研修の取得とジョブ・カードの作成を希望、公共職業訓練の介護員養成科の入校を申込み。
- 介護員初任者研修取得、訓練修了後ジョブ・カードを利用した応募書類の作成を実施。（経験のある職種が対人業務、ジョブ・カードの作成から人と接する仕事の適性について気づき）
- 訓練修了後、1か月程度で希望の条件に沿う求人へ就職。

#### 結果

介護職(パート)

## 活用事例⑤

### 職業相談(職業訓練)窓口での活用

29歳女性

希望職種：事務職

過去の職歴：パンの製造 接客 電話応対 品物の発注（正社員）3年5ヶ月

#### 背景

- 前職を体調不良(メンタル不全)により退職し、その後約1年間療養。
- 未経験職種である事務職での再就職を目指すために、その間に独学で日商簿記3級を取得。
- 職業訓練の相談を複数回実施。日商簿記3級の復習とさらに上のレベルの2級を取得し、また自信のないパソコン操作を基礎から習得し事務全般に対応できるようになるため、デュアルシステム「事務エキスパート科」に申込み。
- 訓練受講に向けてジョブ・カードを作成。選考試験に合格し、6ヶ月の訓練を受講。

#### 支援内容・経過

- 6ヶ月の訓練を修了し、当初の目標であった資格はすべて取得した(日商簿記2級、日商PC2級(ワード・エクセル))。
- 当初の目標どおり事務職希望で求職活動再開。応募書類の作成段階で「自己PRがうまく書けない」との相談を受け、ジョブ・カードを活用して応募書類の作成支援を実施。
- 事務求人2件に応募し、そのうち1社に採用。

#### 結果

訓練修了後、約1ヶ月後に事務職(正社員)として採用

# 活用事例⑥

## 職業相談(職業訓練)窓口での活用

男性

希望職種：経理事務

職務経験：販売・レジ業務（学生アルバイト）1年3カ月      販売・レジ業務（アルバイト）6カ月

### 背景

- 約5年前に高等学校を卒業後、短期のアルバイトに従事したものの、6カ月程度で退職。その後家族の看護などをしていっているうちに就労意欲をなくしてしまった。
- 就労を妨げていた家庭事情が無くなったため、数年ぶりに就職活動を始め。
- 事務職や営業職を希望するも、長期のブランクがあるため就職に自信が持てず、職業訓練によるスキルアップ・資格取得を希望した。

### 支援内容・経過

- ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを行い、自己理解を深めた。
- 希望職種に就くためのスキルを学べて、さらに企業実習で実務も学べるDS事務エキスパート科を受講。
- 希望職種である経理事務職を中心に複数の求人に応募するも、採用に至らず。
- 再度キャリアコンサルティングを行い、求人の状況も考慮し、希望職種・条件等の再検討を行った。
- ジョブ・カードの職業能力証明シートに記載があった情報処理検定資格に着目し、本人の意向を確認。
- 希望職種をプログラマ・システム開発職に変更して就職活動を行い、正社員での採用に至る。

### 結果

**システム開発職(正社員)**